



## スポーツの感動をもらっています。

いつもありがとうございます。皆さまいかがお過ごしでしょうか、お変わりありませんか？

コロナ禍で一年の延期を余儀なくされた「東京オリンピック2020」が、開催されました。色々なご意見はあろうかと思いますが、やはりひたむきにオリンピックの舞台で闘いを繰り広げるアスリートの姿に、感動を覚えます。13歳で金メダルを獲得した選手が然り、インタビューの意図した答では無く、「もっと簡単な言葉にして下さい。」との切り返した「回答(快答)」には、びっくりしました。世界で闘うアスリートは、肝が据わっているなあと改めて、思いました。

多くの人たちが、「金メダルをめざして頑張っているアスリート」の姿を見て、TVにくぎ付けになるのは当然の流れだと思います(ステイホーム オリンピック)。

一方、開催期間中にコロナの感染が急拡大しており、オリンピック開催が人々の自粛意識に影響を与え、気の緩みに繋がっているのではないかと危惧されています。ワクチン接種がやっと軌道に乗り始めた矢先の今なので、とても不安です。

今も大阪府には4回目の「緊急事態宣言」が発令中ですが、もうすっかり「慣れてしまって…」との声が聞かれます。しかしながら外出の自粛等の日々がまだまだ変わらず続くかと思えます。ワクチン接種は継続して行われるようですが、何をにおいても自身の体調管理が必要ではないでしょうか？「うつらない」「うつさない」を今も肝に銘じて活動に邁進していきたいと思えます。今もよろしくお祈りします。

## 7月の活動

- ① マイ児童デイサービスそね・はっとりでの活動 7月ダイジェスト
- ② 大阪府庁舎管理課の職場実習体験の事前打ち合わせに行ってきました(7/13)



## 今後の予定やお知らせ

- ① 大阪府庁舎管理課の職場実習体験が終わりました。次月報告します(8/2~8/6)
- ② 令和3年度第5回サポートが必要な子どもたちとの料理教室2回目 開催します(8/28)
- ③ 「第10回みんなでワイワイさんあいイベント」 ご出店者、ご出演者 大募集します(8/2~)

## あとがき りゅうから 繋がってきたこと 繋がること

### 活動報告① マイ児童デイサービスそね・はっとりでの活動 7月ダイジェスト

7月もそれぞれの放課後等デイサービスの様子をお伝えします。

4度目の緊急事態宣言が発令されている中でも、四季のある日本に住んでいる私たちには、四季折々の行事を大切にすることが大事と考え、季節毎に「療育支援」に伝統的な行事を織り交ぜて活動しています。

7日の七夕当日は雨になりましたが、そねでは毎年奈良からほんまもんの笹を持って来ていただき、そねっ子たちが思い思いの願い事を色とりどりの短冊に書き、指導員と一緒に折り紙で七夕飾りも作り、笹の葉につるしました。最初は「なんで??」という顔をしているそねっ子も多かったですが、都度「七夕の話」をし理解を深めています。



事前導入にも力を入れていきました。折り紙を折る時には集中して手先を使うことが大事なことや、「のりづけ」「丁寧に折る」ことを何度も繰り返し、ご覧の様に賑やかな七夕飾りになりました。織姫様と彦星様は、天の川で逢えたのかな。短冊に書いたみんなの願いが叶いますように…。



はっとりでは、7月の活動プログラムでも『将来、人のために働くことをめざして』取り組みました。メンバーのみんなに「将来は何になりたい?」から「あいさつの必要性」や「自分の将来って?」などの話をしま

した。「あいさつ言葉(実践編)」も最初はもじもじしながら、恥ずかしがって小さな声しか出なかったメンバーも、「こんにちは」とはっきりと聞き取れる声が出る様になりました。何度でも「出来る」と信じて諦めないで取り組んでいきます。出来ることで「自信」になり、自己肯定感も高まっています。

【お問い合わせ マイ児童デイサービス 電話：06-6152-8991 FAX：06-6152-8992  
マイ児童デイサービスはっとり 電話：06-6868-9371 FAX：06-6868-9372】

## 活動報告② 大阪府庁舎管理課の職場実習体験の事前打ち合わせに行ってきました (7/13)

今年も8月の初旬は、恒例の大阪府庁舎管理課の職場実習体験に参加ということで、今回は事前打ち合わせに、男子3名、女子1名と一緒に参加してきました。今回は、枚方支援学校、園芸高等学校そしてハニー・ビーマイ児童デイサービスはっとりと3か所からエントリーがありました。職員さんから、「自己紹介をお願いします。」と言われ、皆さん恥ずかしがりながらも何とか所属名とお名前、好きなことなどが言っていました。

庁舎管理課長さんからのお話で、「自分から挨拶をすることが、大事」とのお話をいただいたこともあって、ひとつ目標が出来たようです。その後には、どんなお仕事をするのか説明を受け、「剪定作業」という言葉に聞いたことのない実習生たちも、実際に府庁公館で現場を見せていただき、剪定作業の様子を見て「すごい、機械なんですね。」と目を輝かせていました。体調を整えて、いい実習体験にしたいですね。

【お問い合わせ マイ児童デイサービスはっとり 電話：06-6868-9371 FAX：06-6868-9372】

## お知らせ① 大阪府庁舎管理課の職場実習体験が終わりました。次月詳細に報告します (8/2~8/6)



今年度も大阪府庁舎管理課の職場実習体験に参加させていただきました。今回は3つの学校・事業所から12名が参加しましたが、当初の印象からも「活気のあるチーム」のように感じていました。

事前打ち合わせの際に庁舎管理課長から言われた「自分から挨拶しよう」が、ちゃんと頭に入っているお陰か、わたしが見に行った際にも「元氣な挨拶」が出来ていました。ごちゃまぜのチーム編成でも、声をかけ合い協力し合いながらそれぞれの力を発揮していました。

次号で詳細をご報告させていただきます。

【お問い合わせ マイ児童デイサービスはっとり 電話：06-6868-9371 FAX：06-6868-9372】

【お問い合わせ ハニー・ビー 事務局 電話：06-6152-7389 FAX：06-6152-7348】

## お知らせ② 令和3年度第5回サポートが必要な子どもたちとの料理教室 2回目 開催します (8/28)

次回2回目の料理教室は、8月28日(土)に本町のハニー・ビーで、感染防止対策を講じて開催します。

今回は、冷製パスタとフライドポテト(シャカシャカポテト←味に変化をつけたもの?)とサラダ、そしてフルーツポンチを作ります。

回を重ねる毎に、チャレンジャーのみんなとボランティアさんと打ち解けている場面が見受けられ微笑ましい限りです。おうちでも作ってみるというチャレンジャーも増えて、お母さまもとても喜んでいらっしゃる様子。「自分で作って食べるのは、自律の第一歩」だと思っています。今回も一緒に作って美味しくいただきましょう。

※場所は、ハニー・ビーの本町事業所です。お間違えのないようにお越しください。

【お問い合わせ ハニー・ビー 事務局 電話：06-6152-7389 FAX：06-6152-7348】



## お知らせ③ 「第10回みんなでワイワイさんあいイベント」 ご出店者、ご出演者 大募集します (8/2~)

先日、お電話で「今年も『さんあいイベント』ありますか?」とのお問い合わせをいただきました。春先から準備を進めていたものの、アイデアや具体構想などが、中々まとまらず滞っていたことに、傍と気が付きました。このお電話を機に、ご出店者さま、ご出演者さま、それぞれにご案内を送らせていただきます。

と同時に、まだまだイベント開催の運営資金が不足していますので、以前にお願いだけしてご無沙汰な方々のところにも近況報告かたがたお邪魔し

て、改めて「ご寄付のお願い」をさせていただきたいと思っています。誠に厚かましいお願いとは思いますが、趣旨を十分ご理解いただき、ご支援ご協力をお願いいたします。

※追記 以前ご出店ご出演をいただいた方には、申込書などの資料をご送付させていただきます。新規のご出店ご出演をご希望の方は、平日の10時～16時までの時間に、事務局までお電話を頂戴いただければ幸いです。

(その折に、さんあいイベントの趣旨などもお話出来ればと思っています。)

【お問い合わせ ハニー・ビー 事務局 電話：06-6152-7389 FAX：06-6152-7348】

## あしがき りゅうから 繋がってきたこと 繋がること



皆さまの中には、既にご存知の方も多くおられるかと思いますが、息子八木 隆介(「りゅう」)が令和3年7月6日(火)行年31歳で、天に召されました。

りゅうは、今年5月から月に1度くらいのペースで発作を起こして倒れることはありましたが、それ以外はいつものように夜中に起きて騒ぎ出す、(しんどくて寝られなかったのかも)朝の早くからわたしと一緒に職場(彼はハニー・ビー ジョブ)に通い、正面玄関のシャッターを早くから開けてもらっては、行きかう人たちと笑顔で交信していました。

つい最近、たまたま地域コミュニティ紙の「とよなかの星たち」でわたしの半生を振り返る中で、りゅうとのことも書いていただいていたので、ハニー・ビー通信でも紙面を使わせていただいていたのご報告は失礼かと思いましたが、30歳という若さで、天命を全うしたりゅうのことは、「意味があって生まれてきてくれたこと」「みんな(地域)の中でずっとチャレンジしてきたこと」を覚えていただきたいと思います。もし良かったら、続けてお読みいただけたら嬉しいです。

りゅうは、八木 隆介という名前です。小さいころから「りゅう」「りゅうちゃん」と呼ばれていて、笑顔のかわいい子でした。その何ものにも代えがたい笑顔はずっと続くものだと思っていました。

大阪に帰ってきたからは、園長先生の「一緒に、育てていきましょうね。」との心強いお言葉を糧に、学校法人育保学園 熊野田幼稚園に途中入園させていただき、長女(詩織)と一緒に幼稚園生活を始めました。私の中で多々辛いところもありましたが、今も活動の礎となっています。

とはいえ、ずっと30年も前から振り返るのは難しいと思うので、ハニー・ビーでの活動を中心に「りゅうから 繋がってきたこと 繋がること」として、ご高覧いただけたら嬉しいです。

## りゅうは 仕事が好き



「仕事が好き」という前に「人の役に立つことが好き」だったように思います。自宅では、洗濯物干しに始まり、自分でパンをトースターで焼き、バターを2度塗りして食べていました。布団の上げ下ろし、食器の後片付けと、本当に忙しい時にも助かっていました。

また、ハニー・ビー ジョブでも、パンの袋詰め作業やごみの回収作業はとても手際よくこなしていました。ただ、自分が一番だと思っているので、ほかの人がモタモタしていると「ワァワァ」と抗議(笑)をしていました。

支援員さんにお聞きすると「ジョブちゃん(ハニー・ビージョブのキャラクター)」の色塗りやチラシ折りは、「誰よりも丁寧で、早い」とお褒めの言葉を頂戴しました。

## りゅうは スポーツが好き

でもルールの理解が難しい中で、「走る」「飛ぶ」「滑る」「投げる」「泳ぐ」など、後「ヨガ」も。個人で出来るものに参加させていただきました。特に、支援学校に入学してからの「スペシャルオリンピックス日本・大阪」での活動は、「りゅうちゃんの走り方、きれいね。また、速いし!!」と、いままで褒められたことのない言葉を掛けていただき、そこから、色々なプログラムに参加し、りゅうだけでなく、母であるわたしの交流も深まりました。りゅうは、亡くなるまで「スペシャルオリンピックス日本・大阪」に所属していました。



## りゅうは 絵を描くことが好き



小さい頃から、クレパスが好きで彩（いろ）を塗り重ねて、彩を作って楽しんでいました。必ず、クレパスは「サクラクレパス12色」で16色を買っても24色を買っても、今一つ喜んではくれなかったように思います。思い出としては、28歳の時に出品した、「ゆうきのつばさ～絵画展～」に入賞し、沢山の方々に作品を見ていただけたことでしょうか。

また、第1回豊中ダイバーシティコレクションの時に、同時開催した「ハニー・ビー絵画展」のチラシにりゅうの絵をそのまま使ってもらえたことが思い出になっています。沢山の方々と繋いでくれました。

## りゅうは 人が大好き

りゅうは笑顔が素敵な人でした。その笑顔は、「ここで笑ったほうがいい」という意図的なものではなく、色々な方に分け隔てなく笑顔で接していたようです。

りゅうの存在自体が人を引き付けていたのではないかな、と亡くなってしまった今、朝の早くからハニー・ビー ジョブの正面玄関のシャッターを開けてもらい、通りゆく人々と笑顔の交信をしていたようで、「一番、元気やったのにね・・・」「通るたびに、手を振ってくれてね。元気をもらっていた。」という方もおられ、親が知らないところでも、りゅうは「地域（みんな）で生きていた。」と思うと本当に、嬉しく思います。ただ、ジョブのりゅうの定位置には、りゅうがいなくなった今は、寂しいですが誰も立っていません。でも、みんなの心の中で一緒に微笑んでいると思います。



## りゅうは 天に召されました

残念ながら、りゅうはもういません。でも皆さんの思い出の中には生きていて欲しいと願っています。本名は隆介と言います。「隆介」は、上へ上へと大きく成長して欲しいという願いを込めて夫が名付けました。

隆介には重度の知的障害はありましたが、名前通り大きく育ててくれましたし、ニコニコと笑顔を良く見せてくれ、関わって下さった皆さまに可愛がられ、愛される人になりました。

重度な知的障害があったからこそ、「親亡き後も、社会で生きて行けるように、出来ることは何だろう」と・・・思い悩むことも多くありました。隆介が生まれたころは、「隆介のために親として出来ること」を考えていましたが、隆介が地域の中で育っていくにつれて、障害を持つ子どもたちのために、そんな子どもたちについて、一番そばで「どうしたらいいだろうか。」と考えながらも日常生活の中で、遠い将来には「この子はどうやって生活をするのだろうか、何を残せばいいのだろうか・・・」と思い悩む保護者を自分と重ね合わせて、何よりも障がいのある子どもたちやまたその兄弟のために何かできることはないかと思うようになり、わたしは



こちらは、新潟で開催された全国大会で、金メダル授与された時のものです。彼は4回の全国大会に出場しスキーで2度、陸上で1度の3つのメダルを取っていました。

「ハニー・ビー」を作りました。

そんな「ハニー・ビー」のマスコットの存在であった隆介は、本当にたくさんの縁をつないでくれました。そのあたりのことは、わたしから申し上げることもなく、皆さまがよくご存知のとおりです。

りゅうは、30歳という若さで「天に召された」訳ですが、人は使命を持ってこの世に生まれ使命を全うして天に召されるといいます。ですから、とても寂しいですが、わたしはこれが隆介の天命であったと思っております。

## 姉からのお礼の言葉

母自身、隆介がいてくれたお陰で出来た縁がたくさんあり、そのお陰でパワフルに障がいのある子どもたちのために働くことが出来ています。人とお喋りすることが何よりも大好きな母なので、(笑) これからもどうぞ今までと変わらず、隆介のことを話していただければ幸いです。

姉という立場であり、直接気持ちをお伝えする機会がなかったため、このような形でのお礼になったことお詫び申し上げます。隆介を愛して下さい、関わって下さった皆様、本当にありがとうございました。これからもどうぞ、変わらない愛を持って、たまには思い出してやってください。これ以上の幸せはありません。 【姉 詩織】

本当に隆介は多くの皆さまのお陰で30年間生きてこられたのだと、ただ感謝しております。皆さまの心の片隅に、隆介の笑顔がありますように・・・。 隆介を愛して下さい、本当に有り難うございました。【八木 みどり 記】